御　中

平成　　年　　月　　日

アイカ工業株式会社　甚目寺工場
化成品カンパニー　品質管理グループ
お問い合わせ電話番号　052-443-4811

# ＳＤＳ（安全データシート）のご送付案内とお願い

拝啓
　貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。
　さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のＳＤＳを送付させて頂きます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当ＳＤＳをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。
　尚、誠に恐れ入りますが、ＳＤＳを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までＦＡＸにてご返送くださいますよう、併せてお願い申しあげます。

敬具

店所記入欄

店所名：　　担当者：

ご送付日：　平成　　年　　月　　日

ＳＤＳ送付先顧客様：　　電話番号：

製品名

記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画部宛にＦＡＸお願いします。

# ＳＤＳ受領書

製品名

返送先
アイカ工業株式会社　甚目寺工場
化成品カンパニー　生産企画部
FAX番号　052-443-4825

平成　　年　　月　　日

貴社名：　　ご担当部署：

ご担当者名：　　印

ご住所：

電話番号：

　ご記入のうえ、切り離さずに本紙をそのまま返送先までＦＡＸにてご返送下さいますようお願い申しあげます。

以下、余白

# 安全データシート



## 1製品及び会社情報

会社名　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見24番地
担当部門　　化成品カンパニー品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡電話番号　　担当部門に同じ

整理番号　**DSE－0163－2**

**作成日**　２０１３年１２月２５日
**改訂日**　２０１４年　４月２５日

| 製品の名称 | アイカエコエコボンド　ＳＥ－１０ |
|---|---|

## 2危険有害性の要約

GHS分類　：　可燃性固体　区分２
特定標的臓器毒性　区分２（肺）
※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示　：

注意喚起語　：　警告
危険有害性情報　：　可燃性固体
長期又は反復暴露露による肺の障害のおそれ
注意書き　：

【予防】
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。―禁煙。
- 静電気放電や火花による引火を防止すること。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用し、換気を充分行うこと。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 容器を密閉しておくこと。

【対応】
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合、付着物をふき取り、多量の水と石鹸で洗う。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
- 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で保管する。

【廃棄】
- 内容物や容器は焼却設備で少量ずつ焼却する。又、産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。

「製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、
個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

**3組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別 ： 混合物
化学名 ： 変成シリコーン樹脂系接着剤
成分及び含有量 ：

| 成　分　名 | 含有量(%) | ＣＡＳ番号 | 官報公示整理番号（化審法・安衛法） |
|---|---|---|---|
| 変成シリコーン樹脂等 | ２５～４０ | － | － |
| 無機充填剤 | ５５～６５ | － | － |
| 内）酸化チタン | ５　未満 | １３４６３－６７－７ | (1)－５８８ |
| すず及びその化合物 | １　未満 | － | － |

**4応急措置**

目に入った場合 ：清浄な水で１５分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみ，炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。
吸入した場合 ：空気の新鮮な場所に移し、安静，保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 ：多量の水，牛乳又は微温塩水を飲ませて吐かせた後、医師の診断を受ける。

**5火災時の措置**

特定の消火方法 ：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
消火を行う者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋，有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤 ：水［ ］，二酸化炭素［○］，泡［○］，粉末［○］，乾燥砂［○］
その他（ ）

**6漏出時の措置**

人体に対する注意事項：作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項：多量の場合には流路を盛土などで囲って流出を防止する。
除去方法 ：少量の場合は、ウエス，砂などに吸収させ、フタ付の容器等に回収する。
多量の場合は火花の出ないシャベル等で空容器等にすくい取る。
二次災害の防止策 ：付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火機材を準備する
※流出，その他の事故が発生した時は、警察署，消防署等の関係機関に連絡する。

**7取扱い及び保管上の注意**

取扱い ：皮膚に触れないよう保護手袋等の保護具を着用する。取扱い後は手洗いを充分に行う。
火気厳禁。
混合接触させてはならない物質：『１０．安定性および反応性』を参照。
容器包装材料：容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
保　管 ：直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。
消防法の法令に定めるところに従う。

**8暴露防止及び保護措置**

設備対策 ：状況に応じ、局所排気装置を設置する。
管理濃度 ：データなし
許容濃度 ：

| | 日本産業衛生学会 | ACGIH |
|---|---|---|
| 酸化チタン | 1mg/$m^3$(inhalated dusts)<br>4mg/$m^3$(total dusts) | TWA 10mg/$m^3$ |

上記以外は、日本産業衛生学会、ＡＣＧＩＨともにデータなし。
保護具 ：呼吸器の保護具：状況に応じ、防塵マスク、防毒マスクを着用する。
目の保護具：状況に応じ、普通眼鏡型、ゴーグル型を着用する。
手の保護具：状況に応じ、ビニル製、ＰＥ製、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
皮膚及び身体の保護具：状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。
衛生対策 ：取扱後はよく手を洗うこと

**9物理及び化学的性質**

| | |
|---|---|
| 物理的状態 | ： パテ状 |
| 色 | ： 灰白色 |
| 比重 | ： 1.5～1.8 g/㎤ |
| 臭い | ： 特異臭 |
| PH及びその濃度 | ： 測定不可 |
| 引火点 | ： 140℃以上 |
| 発火点 | ： データなし |
| 不揮発分 | ： データなし |
| 粘度 | ： 190～300 Pa・s（23℃） |
| 溶解性 | ： 水に不要 |
| 蒸気圧 | ： データなし |
| 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲 | ： 知見なし |

**10安定性及び反応性**

| | |
|---|---|
| 安定性 | ： 通常の取扱い条件においては安定。 |
| 特定条件下で生じる危険な反応 | ： 水と反応して硬化するが、反応による危険性はない |
| 避けるべき条件 | ： 現在のところ知見なし |
| 危険有害な分解生成物 | ： 現在のところ知見なし |

**11有害性情報**

| | |
|---|---|
| 急性毒性（経口） | ： 現在のところ知見なし |
| 急性毒性（経皮） | ： 現在のところ知見なし |
| 急性毒性（吸入） | ： 現在のところ知見なし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | ： 現在のところ知見なし |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | ： 現在のところ知見なし |
| 呼吸器感作性 | ： 現在のところ知見なし |
| 皮膚感作性 | ： 現在のところ知見なし |
| 生殖細胞変異原性 | ： エームズ　陰性 |
| 発がん性 | ： 現在のところ知見なし |
| 生殖毒性 | ： 現在のところ知見なし |
| 特定標的臓器・全身毒性 | ： 長期又は反復暴露露による肺の障害のおそれがあり、区分２に分類される |

**12環境影響情報**

| | |
|---|---|
| 水生環境急性有害性 | ： 現在のところ知見なし |
| 水生環境慢性有害性 | ： 現在のところ知見なし |

**13廃棄上の注意**

残余廃棄物 ： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器・包装： 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って産業廃棄物として適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14輸送上の注意**

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による。その他、消防法，船舶安全法等の法令に定める所に従う。
容器に漏れのない事を確かめ、転倒，落下，破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送しないこと。
国連分類 ： クラス４．１　　番号： １３２５

**１５適用法令**

| | |
|---|---|
| 消防法 | ： 指定可燃物　可燃性固体類 |
| 労働安全衛生法　第５７条－１（表示対象物質） | ： 該当せず |
| 第５７条－２（通知対象物質） | ： すず及びすず化合物、酸化チタン |
| ＰＲＴＲ法 | ： 該当せず |
| 毒物及び劇物取締法 | ： 該当せず |

**１６その他の情報**　ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気質汚染対策のための自主管理規定
ＪＡＩＡ０１１１１７　Ｆ☆☆☆☆
４VOC放散速度基準：
日本接着剤工業会自主管理規定　ＪＡＩＡ－４０５０２０　４VOC基準適合

参考文献：

１）原料メーカーのＭＳＤＳ
２）安全衛生情報センターのＧＨＳ分類結果データベース
３）製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）のデータベース
４）「製品安全データシートの作成指針（改訂２版）」（日本化学工業協会）
５）「労働安全衛生法ＭＳＤＳ対象物質全データ（改訂２版）」（化学工業日報社）

※本「製品安全データシート」は、当社の製品を安全にご使用していただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものです。
※記載内容のうち、含有量、構成比率、物理化学的性質などの値は、代表値であって保証値ではありません。
※本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また、内容は新しい知見に基づき改訂されることがあります。
※すべての化学品には未知の有害性がありうるため、また危険・有害性の評価も必ずしも十分でないため取扱いには細心の注意が必要です。
ご使用者各位の責任に於いて、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。